

令和6年3月1日

立教187年

3月号
第618号



発行所

天理教宇仁大教会
〒677-0015 西脇市西脇770-4
電話 0795(22)4066番
FAX 0795(22)4072番
unigrandchurch@yahoo.co.jp

部内一斉巡教 3月～6月実施



散歩道

「嘘も百回言えば真実となる」という言葉がある。例え嘘であっても繰り返し言い続けることで、誰もが真実と感じるようになるという意味である。災害や戦争のたびに大衆を煽動する手段として昔から繰り返し用いられ犠牲者が絶えない。最近、国や企業等の不正が明るみに出て、社会の混乱を招いている。人は皆、平均十一の秘密があると聞く。そして秘密は、嘘をつくことによって隠される。不正も秘密にされ、嘘で隠される。しかし嘘はいつかは暴かれる。些細な日常の嘘が大きな災いに発展しないように、教祖のひながたを手本に、正直に生きていくことが、教祖百四十年祭に向かう心の成人への歩みの一歩となるに違いない。

をふでさきに

月日にハラソとついしよこれきらい
このさきなるわ月日しりぞく（十一
一一）と、厳しく諭されている。
そういえば、もうすぐエイプリルフー
ルがやって来るのがだが。

一理塚

おかげ様で私も古希（七十才）を迎えて頂いた。というわけで先日、運転免許の更新のため高齢者講習を受講した。

の場合は試験があつて、落ちる事もあるそうだが、前期?の場合は講習を受けるだけで良いとのことである。警察署でするのかと思つていたら、教習所に申し込むようとのことで、実に約五十年ぶりに自動車教習所へ行ってきた。

他の教習所のことは知らないが、私の行つたところでは高齢者用の日時が決められていた。約2時間の講習で、半分は実技、あと半分は講義と適性検査であった。ありがたいことに、毎日車を運転させてもらつてるので、実技は難なくこなせて教官にお褒めの言葉を頂いた。ところが、適性検査で引っ掛けてしまつた。

若干違った。形の上では視力検査と同じで、四角い機械を覗くのだが、例のCという記号の出方が変わっていた。デジタル表示で、はるか向こうにある小さな小さなCが徐々にこちらに近づいてくる。つまり車に乗っている感覺である。そのCが、上下左右どちらを向いているか分かった時点でも答えるのだが、□に出すのではなく、手に持ったレバーを前後左右に倒すのである。これは一種のゲームだと思った。更に進むと、今度はCの記号は大きくなるのだが、画面のいろんな場所に突然現れる。そのCがどちらを向いているか瞬時にレバーで答えなくてはならない。私の孫なら喜んでやりそうなゲームである。

他にも真っ暗な中から徐々にCが現れて来たり、逆にまぶしいほど明るい中に現れたりと、様々な場面をクリアしていったが、回間違うと最初からやり直しのことなので、必死であった。

済んだのだが、検査官に、視力の衰えと判断の遅さを指摘されてしまった。後期と違つて不合格というのは無いのだが、更新の際には体調を整えておくように、と言われた。

考へてみれば、この年まで眼鏡をかけずに運転どころか文庫本の小さな文字まで読むことが出来、また無事故無違反とは言わないが、大きな事故もなく半

世紀近く過ごしてきたのである。これをあたりまえのように思つてきた自分に気付かせてもらつた。何とありがたいことだったのだろうか。

あたりまえという言葉は、漢字で書くと「当たり前」であり、その意味は「当然そつあるべきこと」だそうである。また、あ

りがたいという言葉は「有難い」であり、その意味は「有るのが難しいこと」である。今さらながら、このことは反対語なのだと気付いた。しかし今の時代、「当たり前」ほど「有難い」こと

は無い、ということにも気付かせて頂いた。

明治二十二年のおさしづに、

『善き事は当り前、いかん事心に大きに持つて治めるよう』とある。善き事、つまり物事が順調に進む事を人は当り前のようと思うが、それこそが大きなご守護である。そしてうまく事が運ばない時こそ、大きな心になつて治めていくように、という意味か。当時はおつとめさえも思うようにつとめられなかつた頃である。

◎ 殿神分教会会場
布教日 二月三日
参加者 4名
会場 千ノ沢町内
内容 戸別訪問
ポスティング
所感 定例の第土曜日、天理いきいき通信を各戸ポスティング活動を約六〇軒させて頂いた。

所感 少人数ではありましたが天理いきいき通信をポスティングさせて頂き、外でおられる方にも少しお話をさせて頂く方もあり話が弾みました。喜んで読んで頂いている方もおられ嬉しく思いました。

『教祖と歩む三年千日』
教会布教実動報告

◎ 田町分教会会場
布教日 一月二十八日
参加者 2名
会場 教会周辺
内容 ポスティング

教祖と共に歩む三年千日
大教会布教実動日

『教祖のお供に歩かせて頂く日』
毎月15日 午後1時30分 大教会神殿集合
戸別訪問・振り返り 午後三時三十分 解散
『親神様の神名を世界へ流す日』
毎月24日 午後1時30分頃 大教会神殿集合
神名流し 午後二時 終了

立教百四十年祭
期間 四月一日～十日
初席者五十人の完遂を目指そう！

別席強調月間

来る3月31日（日）少年会宇仁団総会を開催します。
コロナ禍も少しづつ落ち着きはじめた今年度は、再びみんなで様々な行事に参加出来るようになりますが、おつとめになつた喜びを胸に、前半下りまでではありますが、おつとめ着を着用してのおつとめ総会とさせて頂きます。

おつとめで世界の平和と能登半島地震で被災された方々のたすかりを親神様教祖にお願いさせて頂きと共に、被災地復興への募金を受付の際に集めさせて頂きたいと思います。

どうか育成員の皆様方にもこの趣旨にご賛同頂き、おつとめ練習の際などにも子ども達にお伝え下さいましたら幸いです。

また今回は各教会のご協力のもと、久々に模擬店が復活すると共に各種お楽しみ行事も委員一同で準備中です。

春の一日、大勢の少年会員のみなさんのご参加をお待ちしています。

少年会宇仁団長 原田信一

少年会宇仁団より
お知らせとお願い

立教187年 天理教少年会宇仁団総会

開催日時：立教187年3月31日（日）

受付：午前9時

内容：開式（午前10時）

○祭儀式

○おつとめ

○総会式

○お楽しみ行事

模擬店、鼓笛隊演奏、大抽選会

座りづとめ（教会・布教所子弟）

よろづよ八首（直属）

1・2下り目（中河合部内）

3・4下り目（神福部内）

5・6下り（豊原部内）

⑤創立100周年

(31)

創立百周年のことを数回にわたりにして、次回からは新しい章に入ろうと思う。おそらくそれが最終章になるだろう。

宇仁会報に『記念祭をつとめ

終えて』という特集が掲載されている。そのトップバッターは先日出直された阿江利光氏（西津万分会長）で、記念祭では参拝者部の責任者であった。氏は、百という大区切りの旬に元気に生かされている喜びについてふれ、続けて「日々をひのきしんの精神で通っていれば良いのだが、それがなかなかできない。その穴埋めをさせて頂くのが、旬々の御用であり各種行事であると思っている」と述べている。

百周年では、記念行事が市民会館大ホールで行われ、宇仁百年のスライドショをはじめ、

『宇仁会報に見る大教会史』 第87回

第87回

正司敏江・玲児の漫才や滝沢てるみ夫妻の歌とトークなどのショ

が催された。特に、車椅子歌手で、ご主人に介助されながらステージに登場した滝沢夫妻は、正に「お道の人」という感じで、会場は感動に包まれたと記されている。

真柱様ご一行が大教会をお立

ちになつたのは、午後 時一十五分であつた。市民会館の行事終了が同五十分となつていてので、多くの参拝者はお見送りが出来なかつたようである。記念行事を別会場にするところいう欠点があるが、何せ参拝者総数が千四百名という事なので、大教会だけでは賄いきれなかつたのであらう。真柱様おぢば到着は午後五時で、そのまま夕づとめに出られたと記録されているが、何というスピードか。

ともあれ、宇仁にとつて未曾有の祭典『創立100周年』は、無事盛大に幕を閉じた。

<スローガン>
「次代を担うよふぼくへ」

○式典(午前10時)

本部中庭「真柱様お言葉」

○直属アワー

式典後より午後3時まで

○別席

○前日行事

○参加対象

高校生(新1年含む)

大学生・短大生

専門学校生・大学院生など



おちば通信 一月のうごき

◎別席の誓い 一名
兵庫中央 (詰所調べ)

◎一月帰参者 一名
※十一月の別席者、久樹2名が抜けておりました。お詫び申し上げます。

3月行事予定表

9日 婦人会例会
15日 布教実働日
19日 少年会例会
24日 大教会月次祭

26日 午前10時30分執行
神名流し

31日 本部月次祭

午前9時執行

3月～6月 部内 齊巡教
少年会宇仁団総会

婦人会より

◇大教会炊事当番

3月 神福A

4月 直 属

5月 神福B

よろしく

お願いします